



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 英久

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長

(氏名) 濱高 和長

TEL 044-520-0733

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	53,435	0.9	△50	—	△487	—	△713	—
23年3月期第3四半期	52,984	4.4	△257	—	△651	—	△514	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △839百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △606百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△7.26	—
23年3月期第3四半期	△5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	81,306	4,647	5.6	△14.46
23年3月期	69,508	5,422	7.7	△6.47

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,578百万円 23年3月期 5,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,900	5.8	1,580	41.5	1,050	64.0	730	28.0	7.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	98,334,867 株	23年3月期	98,334,867 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	62,965 株	23年3月期	56,825 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	98,272,360 株	23年3月期3Q	98,279,613 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災以降停滞していた経済活動は回復傾向が見られましたが、欧州債務問題とユーロ圏の金融システム不安による世界経済の減速懸念、円高の長期化などの影響から企業収益の悪化が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

アルミ建材業界においては、当社グループが主力とするビルサッシ分野は、マンション着工戸数の回復により、持ち直しの動きを見せていますが、緩やかな回復基調にとどまり、我々を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いています。一方、建材以外のアルミ形材や加工品等の分野においては、全般に需要が回復し堅調に推移しましたが、今般の急激な円高進行により需要先の海外シフトが加速され、加工品分野への影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは、本年度よりスタートした「中期経営3ヵ年計画（平成23年度～25年度）」の中で、建材事業のコストダウンの継続推進により利益と価格競争力の確保に努め、また、市場成長性と強みのある事業分野へ経営資源を投入し、グループ事業構造の改革を図るとともに、会計・人事システムの共通化、ホストコンピュータのダウンサイジングによる経費の削減等、グループ経営の一層の効率化・合理化の推進にグループ全社一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高534億3千5百万円（前年同期比0.9%増）となりました。利益面では営業損失5千万円（前年同期比2億7百万円良化）、経常損失4億8千7百万円（前年同期比1億6千4百万円良化）と損失計上ながら前年同期と比べ改善しております。四半期純損益は前年第2四半期に子会社株式の譲渡益を計上した影響もあり、前年同期比1億9千9百万円減の7億1千3百万円の損失計上となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

主力の建材事業においては、ビル新築市場は依然として厳しい状況にありますが、震災復旧工事やリフォーム需要等への対応に注力した結果、売上高は前年同期比2.9%増の349億9千3百万円と増収になりました。セグメント損益は改善施策の効果で前年同期に比べ8億7千6百万円良化したものの、4億9百万円のセグメント損失となりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、需要先の業績回復に伴い、特に一般形材が順調に推移し、売上高は前年同期比1.9%増の154億5千6百万円となりましたが、セグメント利益は急激な円高等の影響でアルミ加工品が減少したことにより前年同期に比べ6億7千5百万円減の9億9百万円となりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事を行っています。公共施設が主体となることなどから、3月に発生した東日本大震災の影響で新規工事に遅延が発生したため、売上高は前年同期比21.6%減の19億6千2百万円と減収になりましたが、セグメント利益は発注原価の見直し等により前年同期に比べ1億5百万円良化し、1億4千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は543億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ128億1千6百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が128億9千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は269億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千7百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が5億9千9百万円減少し、投資その他の資産が4億3千1百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、813億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ117億9千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は616億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ108億1千2百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が8億9千8百万円増加し前受金が96億8千8百万円増加したことによるものであります。固定負債は150億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億6千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が13億3千8百万円、退職給付引当金が4億6千2百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、766億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億7千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は46億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千5百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失7億1千3百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は5.6%（前連結会計年度末は7.7%）となりました

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、平成23年5月11日に公表しました予想数値から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,851	10,949
受取手形及び売掛金	18,525	15,008
商品及び製品	1,039	1,197
仕掛品	9,317	22,214
原材料及び貯蔵品	2,841	3,243
販売用不動産	227	222
その他	1,585	2,283
貸倒引当金	△810	△726
流動資産合計	41,577	54,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,619	35,670
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,668	△28,065
建物及び構築物（純額）	7,951	7,605
機械装置及び運搬具	44,222	44,073
減価償却累計額及び減損損失累計額	△41,844	△42,017
機械装置及び運搬具（純額）	2,377	2,055
土地	13,165	13,160
リース資産	214	239
減価償却累計額	△63	△99
リース資産（純額）	150	139
その他	14,405	14,513
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,901	△13,927
その他（純額）	503	585
有形固定資産合計	24,148	23,548
無形固定資産		
その他	85	99
無形固定資産合計	85	99
投資その他の資産		
投資有価証券	1,511	1,443
長期貸付金	70	55
繰延税金資産	200	188
その他	3,083	2,637
貸倒引当金	△1,168	△1,058
投資その他の資産合計	3,696	3,265
固定資産合計	27,930	26,913
資産合計	69,508	81,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,203	18,102
短期借入金	25,649	25,768
リース債務	50	48
未払法人税等	221	172
前受金	4,759	14,447
役員賞与引当金	7	—
工事損失引当金	271	457
資産除去債務	177	99
その他	2,462	2,519
流動負債合計	50,803	61,616
固定負債		
長期借入金	1,140	2,479
リース債務	114	104
繰延税金負債	224	184
再評価に係る繰延税金負債	492	430
退職給付引当金	10,494	10,956
資産除去債務	168	182
その他	647	706
固定負債合計	13,281	15,043
負債合計	64,085	76,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	814	814
利益剰余金	2,401	1,751
自己株式	△7	△8
株主資本合計	4,917	4,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46	△135
土地再評価差額金	1,426	1,488
為替換算調整勘定	△933	△1,041
その他の包括利益累計額合計	446	311
少数株主持分	58	68
純資産合計	5,422	4,647
負債純資産合計	69,508	81,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	52,984	53,435
売上原価	45,642	45,981
売上総利益	7,342	7,453
販売費及び一般管理費	7,600	7,503
営業損失(△)	△257	△50
営業外収益		
受取利息	20	26
受取配当金	19	49
受取賃貸料	20	22
助成金収入	42	—
その他	115	83
営業外収益合計	218	181
営業外費用		
支払利息	490	494
手形売却損	66	45
持分法による投資損失	—	7
その他	55	70
営業外費用合計	611	618
経常損失(△)	△651	△487
特別利益		
固定資産売却益	3	4
貸倒引当金戻入額	18	—
事業再編損失戻入益	120	—
関係会社株式売却益	675	—
損害賠償金	—	14
株式交換差益	—	14
その他	44	—
特別利益合計	861	33
特別損失		
固定資産除却損	24	35
災害による損失	—	19
投資有価証券評価損	—	5
貸倒引当金繰入額	241	—
賃貸借契約解約損	4	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
退職給付費用	58	10
その他	3	4
特別損失合計	554	75
税金等調整前四半期純損失(△)	△344	△528
法人税等	172	170

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△517	△699
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△3	14
四半期純損失 (△)	△514	△713

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△517	△699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△88
土地再評価差額金	—	61
為替換算調整勘定	△8	△112
その他の包括利益合計	△89	△139
四半期包括利益	△606	△839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△603	△849
少数株主に係る四半期包括利益	△3	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

I. 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	33,998	15,168	2,502	51,668	1,315	52,984
セグメント間の内部売上 高又は振替高	207	7,131	6	7,344	2,116	9,460
計	34,205	22,299	2,508	59,013	3,432	62,445
セグメント利益又は損失 (△)	△1,285	1,585	36	336	242	578

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「産業廃棄物処理」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	336
「その他」の区分の利益	242
セグメント間取引消去	106
全社費用（注）	△943
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△257

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	34,993	15,456	1,962	52,412	1,022	53,435
セグメント間の内部売上 高又は振替高	212	6,841	—	7,054	2,206	9,260
計	35,206	22,297	1,962	59,466	3,228	62,695
セグメント利益又は損失 (△)	△409	909	141	642	189	831

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	642
「その他」の区分の利益	189
セグメント間取引消去	105
全社費用（注）	△987
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△50

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。